

## ■テーマ展

## 庶民の神仏画 ～鎌田コレクション～

会期 平成18年12月9日(土)～平成19年2月25日(日) 会場 特別展示室

現世での利益や死後の安楽を願い、人々は様々な神や仏に祈ってきました。神仏のお姿や名号の掛軸、寺社のお札などを拝み、日々の信心のたよりとする人は現在でも多いことでしょう。

本展では、鎌田隆氏からご寄贈いただいた各地の寺社の神仏画やお札の中から、岩手県内と近県の資料を中心に紹介します。人々が祈った素朴な木版摺りなどの神仏の姿から、近世～近代の庶民信仰の様子を垣間見ます。

## 1 お山への祈り

わたしたちの故郷には、遠く近くに山並みがあります。故郷を離れた者にとっては懐かしく、その地に暮らす者にとっては日々ともにある山。山は田畑を潤す川の源であり、木材や食料などの宝庫であり、その土地の象徴でもあります。山々には神や祖先の霊が宿るともいわれ、秀麗な山は神そのものとして崇められてきました。自然の恵みをもたらすとともに、時には天変地異をひきおこす威力を秘めた偉大な存在です。

お山への信仰は、自然に抱かれながら生

活してきたわたしたちの素直な心情のあらわれといえましょう。

**岩手山** 岩手山は、岩手県の最高峰。お山全体が神さま（ご神体）とされ、岩鷲山大権現として崇められていました。岩手山は土地の守護神であり、代々の盛岡藩主は南部領の総鎮守として篤く崇敬しました。江戸時代には庶民の参拝も盛んとなり、戦後まで、「お山かけ」と称して精進潔斎した男子が山頂まで登り、ご来光を拝み、五穀豊穡などを祈る慣わしもありました。

日本の神さまは仏さまが変身して現れたものとの考えがあった江戸時代まで、岩鷲山大権現の本来のお姿は阿弥陀如来と薬師如来、観音菩薩とされていました。神さまと仏さまを分けて信仰するようになってからは、顕国魂大神（大國主命、大穴牟遲命）、宇迦之御魂命、倭建命としてお祀りしています。

**早池峰山** 北上山地のほぼ中央にそびえる早池峰山は、ふもとの農民、三陸の漁民、猟師など山地に働く民それぞれの守護神として敬われてきました。山麓には恵みの水

をもたらし、海上から眺めれば漁場を定める目印となり、山中にあってはその加護を得て働くことができるのです。

早池峰神楽では、早池峰山の神霊の化身である権現さま（獅子頭）を奉じ、諸厄を祓い、人々の安泰を祈ります。

遠野地方には、早池峰山・六角牛山・石上山の三山にそれぞれ住まう三姉妹の姫神の伝説があり、亡くなった人の霊が上るお山との言い伝えもあります。

**出羽三山** 山形県（昔の出羽国）にある月山、羽黒山、湯殿山をあわせて出羽三山といえます。山中での修行により験力を得、悟りを開く修験道の霊場として発展しました。湯殿山は大日如来、月山は阿弥陀如来、羽黒山は観音菩薩と仰がれ、庶民のお山参りも盛んでした。

その信仰は、日々お山を拝する地元のみならず、遠く関東甲信越方面まで及び、岩手県内各地にも出羽三山参りの講がありました。参拝の記念と日ごろの信心のために建てられた石碑も数多く残っています。秋田・山形県境の鳥海山を併せて参拝するならいの講もありました。



岩手山神社 御神影



遠野三山の女神



出羽三山来迎図

## 2 庶民の願いと神さま仏さま

わたしたちには、様々な願い事や心配事があります。暮らし向きのこと、家族のこと、病気のこと、いつか訪れる死のこと…神仏に手を合わせる心の内は、人それぞれです。身近にはいくつもの神社や寺院があり、小さな祠、石のお地蔵さまや観音さま、神仏の名を刻んだ石碑などはとても数え切れません。神仏の多様さは、庶民の願いの多様さでもあります。

その中から少しだけご紹介しましょう。

### 暮らしの安全を願う

一日一日を大過なくすごすことは、今も昔も変わらぬ庶民の願いです。集落に災いがなく、仕事が順調であれば、おおむね暮らしも安泰というものです。

〔稲荷神〕 お稲荷さまは、もとは農耕の神さまですが、五穀豊穡のみならず、商売繁盛、家内安全などにも霊験あらたか。家の屋敷神としても多く祀られています。



稲荷神 (志和古稲荷神社・紫波町)

### 病氣平癒と諸厄退散を願う

人の一生に病気はつきもの。大病を患うこともあります。神仏の助けを願わずにはいられません。

〔薬師如来〕 お薬師さまは、人々を病気や苦痛、貧困などからお救いくださる仏さま。手には薬の入った壺を持っています。



穴薬師 (西和賀町本屋敷)

### 息災延命と浄土への往生を願う

この世では達者に暮らし、死んだら極楽へ往生したい。これも庶民の切なる願い。神仏のご加護があれば安心です。

〔普賢菩薩〕 お普賢さまは、辰・巳年生まれ(ふげんぼさつ たつ み)の守り本尊。寿命を延ばすという徳もお持ちです。



普賢延命尊 (感応山神通寺 三明院・盛岡市)

## 3 寺社参詣の旅

観光旅行などままならない江戸時代、寺社参詣の旅は庶民の憧れでした。

### 観音巡礼の旅

観音さまは、救いを求める人々の声を聞きになり、手をさしのべてくださいます。

す。西国巡礼は、三十三所の観音さまへお参りする旅。遠国への参詣がかなわずとも、各地に観音札所があり、巡礼者が絶えません。



十一面観音  
(首羽山 清水寺  
・花巻市)

当国三十三所観音  
(和賀・稗貫・紫波地域)  
札所の第一番

### お伊勢参りの旅

庶民にとって、お伊勢参りは一生に一度の念願の旅。多くは仲間で講を組んで旅費を積み立て、代表者を農閑期に送り出しました。行き帰りには各地の有名な寺社にお参りし、名所を見物。四国の金毘羅様まで足を延ばす一行もありました。寺社の掛軸やお札が旅の土産ともなりました。

神仏のお姿は実に様々。神さま仏さまはまだまだたくさんおいでです。ぜひご来館ください。

専門学芸員 齋藤里香

### 展示解説会

1月8日(月・祝)、2月12日(月・祝)  
14:00~15:00 特別展示室 (要入館料)  
県博日曜講座

1月14日(日) 13:30~14:30 教室  
「お伊勢参りの道中日記」  
講師 時田里志 (当館主任専門学芸調査員)  
1月28日(日) 13:30~15:00 講堂  
「いわて神仏画の世界  
～鎌田コレクションを中心に～」  
講師 大矢邦宣氏 (盛岡大学教授)